

## '98全日本ラリー四輪駆動部門 第6,7戦Bクラス **鎌田豊選手** CMSC 道北 **今季5勝で** **シリーズパーフェクトチャンピオンに決定!**



'98全日本ラリー四輪駆動部門 第6,7戦 CMSC入賞者 (3位以上)



CMSC埼玉 田口幸宏選手 Cクラス 第7戦2位

CMSC鹿児島 中尾晃選手 Bクラス 第7戦3位

CMSC道北 杉山聡選手 Bクラス 第6戦3位

シリーズチャンピオンを決めた鎌田選手のまさに力強い走り。(第6戦)

今季Bクラスでは前戦まで5戦中3勝、2位2回と圧倒的な強さのCMSC道北・鎌田豊選手。その勢いは留まるところを知らません。

7月4,5日、北海道勇払郡占冠村「アルファリゾートマム」をスタート、夕張市「ファミリースクールひまわり」をゴールに開催された第6戦「'98ノースアタックラリー」でも、鎌田選手は圧倒的な強さを発揮。15本のSSの内、13本を制する走りでシーズン4勝目。シリーズ有効ポイントも大きく2位以下を引き離し、早くもシリーズチャンピオン確定となりました。

Bクラスでは以下、2位鷹野健太郎／川村知恵選手組、3位杉山聡選手のCMSC道北勢が入り、今季2度目の道北上位独占となりました。

続く第7戦「ひえつき'98夏」は7月25,26日、宮崎県東臼杵郡「椎葉村運動公園」をスタート・ゴールに開催。当日は雨、ウェットコンディションでのラリーとなり、Cクラスの最終SS12は、途中土砂崩れのためキャンセルになるというハプニングもありました。Bクラス鎌田選手はまたもやSS12本中11本を制するという、手の着けられない強さ。今シーズン5勝目でベスト5戦のポイントが有効なシリーズ争いにおいて、見事パーフェクトチャンピオンに輝きました。

CMSC勢では、CクラスでCMSC埼玉・田口幸宏選手が2位でゴール。BクラスではCMSC鹿児島・中尾晃選手が3位入賞しています。

## '98全日本ラリー四輪駆動部門 第8戦 **Bクラス 鷹野健太郎／川村知恵選手組** CMSC 道北 **全日本戦初優勝。**



'98全日本ラリー選手権(四輪駆動部門)第8戦「'98 RALLY in Akaigawa」が9月5,6日、北海道余市郡赤井川村の「キロロリゾート」をスタート・ゴールに開催されました。北海道らしいダイナミックかつ、SS総距離が100kmを超える長くハイスピードな設定となった今回のラリーではリタイヤが続出。完走は参加計43台中、わずか18台となりました。

BクラスではCMSC道北・鷹野健太郎／川村知恵選手組が、2位に5分49秒の大差をつけて、全日本選手権で初優勝しました。Bクラスでは前戦でパーフェクトチャンピオンに確定したCMSC道北・鎌田豊選手をはじめ8台中6台がリタイヤ。鷹野／川村組は残る2台の一騎打ちを制し、うれしい勝利。シリーズポイントでも鎌田選手に次ぐ2位につけています。

ブツギリの走りで、待望の全日本戦初勝利を挙げた鷹野・川村コンビ。



スーパー耐久シリーズ'98  
第5戦クラス2

# 小川日出生選手

CMSC  
山形

# 十勝24時間を制す!



スーパー耐久シリーズ'98第5戦「第5回十勝24時間レース」は7月17～20日、北海道「十勝インターナショナルスピードウェイ」にて開催されました。クラス2ではここまで3連勝のランサーエボV。今回は24時間の長丁場で耐久性も要求され、その走りに注目が集まりました。

19日午後3時から翌20日午後3時までの24時間レースは、晴れのち曇りのドライコンディションの中スタート。



予選で3番グリッドを獲得したCMSC山形・小川日出生選手組エボVが、1番グリッドスタートのエボVと終始激しいトップ争いを展開。終盤での同一周回での接戦バトルを制した小川選手組が、今季初優勝を果たしました。総合でも2位で、エボVはクラス2での4連勝達成となりました。

接戦を制して今季初勝利の小川選手とエボV。

'98ミラージュカップ  
東北シリーズ第2,3戦

# 高橋しげる選手

CMSC  
仙台

# 圧倒的強さで連勝!



開幕から絶好調の走りを見せる高橋選手。シリーズチャンピオンは目前だ!

'98ミラージュカップ・東北シリーズ今季開幕戦を優勝で飾り、好スタートを切ったCMSC仙台・高橋しげる選手が快調な走り続けています。

6月27,28日の第2戦、8月23日の第3戦はともに宮城県「仙台ハイランドレースウェイ」で開催されました。仙台ハイランドは昨年3戦3勝のコース。「ドライバーも車も万全」という監督の言葉通り、2,3戦ともポールポジション獲得の高橋選手。第3戦のスタート直後に後続選手にかかわれる場面こそありましたが、圧倒的速さと危なげのない落ち着いたレース運びで、なんと開幕から3戦連続のポールトゥウィン達成。まさに他の選手には手のつけられない状態です。次戦の結果次第では、早くも念願のシリーズチャンプ獲得が確定することになります。全勝のパーフェクトウインも夢ではない勢いです。

また、ミラージュ・カーブラザカップ・シリーズでも活躍中のCMSC山形・エド・ムラサキ選手も、第2戦3位、第3戦2位と上位で活躍しています。

'98ミラージュ・カーブラザカップ  
シリーズ第3戦

# エド・ムラサキ選手

CMSC  
山形

# 2位入賞で今季大活躍。

7月5日、'98ミラージュ・カーブラザカップ・シリーズ第3戦が、筑波サーキットにて開催されました。コンディションはドライ、参加台数は29台でした。今シーズン、ミラージュ・カーブラザカップ・シリーズとミラージュカップ・東北シリーズに参戦し続け、2シリーズとも常に上位争いに食い込む活躍を見せている、CMSC山形・エド・ムラサキ選手は、予選で4番グリッドを獲得。

猛暑となった午後の決勝。前半から2番手まで上がったエド・ムラサキ選手は、中盤もトップとのテール・トゥー・ノーズを続けます。終盤トップに引き離されましたが、見事、決勝ベストタイムを出したエド・ムラサキ選手は、シリーズ今季最高位の2位でゴール。残り2戦の活躍も大いに期待できそうです。



上位入賞連続で大活躍する奇名!!エド・ムラサキ選手。

CMSC栃木 川口法行  
筑波9時間ナイター耐久レース参戦記

# 好判断で、うれしい総合4位、クラス3位。

8月8日、天気も良く絶好のレース日和となりましたが、気温が32℃まで上がり、湿度も55%近くあったためオーバーヒートの兆候があり、予選は極力少ない周回数で切り上げることにしました。結果、予選3位で良いポジションを獲得できました。

午後9時スタートとなり、気温も日中と比べ多少下がったため、オーバーヒートの心配もなく、ポジションも3～4位をキープ。ところが4時間が経過した頃、前車が飛ばした異物によりフロントガラスに大きなヒビが入ってしまいました。しかしドライバーの判断で次のピットインまで何とか周回を重ね、ピットでの応急処置も短時間で済みました。

7時間が経過した頃、他チームのピット作業やベースカーが入るなどの番狂わせもあり、一時はトップ車両を目前に走行することもありました。

結果、トップより2周遅れの総合4位、クラス3位入賞でフィニッシュすることが出来ました。

ラリーアートさんのお力添えのお陰で良い結果を出すことができ、チーム一同感謝しています。次回も頑張ります。



総合4位、クラス3位を獲得したCMSC栃木チーム。